

所有者不明土地法等に関する連続実務セミナー

令和元年7月19日(金)
関東地区所有者不明土地
等に関する連携協議会

所有者不明土地問題を含む公共用地の取得に関する市町村等への支援及び所有者不明土地法の円滑な施行を図ることを目的として、本年2月に「関東地区所有者不明土地等に関する連携協議会」(以下「協議会」といいます。)を関係機関等の協力のもと設立しました。

本年度においては、このセミナーを協議会における市町村等への支援活動に位置づけ、用地取得業務に係る地方公共団体への支援の拡充を行うこととしています。

今回実施した第3回セミナーでは、一般社団法人日本補償コンサルタント協会関東支部の協力の下、2名の講師を派遣いただき、用地取得における一般的な建物等の事例をモデルに、建物については、建物移転料の積算チェックの流れや注意点及び積算に必要な用語について、また、工作物・立木・その他通損については、積算チェックにおける主な注意点と算定方法について、丁寧にご説明いただきました。

第3回テーマ 『用地補償額の積算及び点検について』

〈講師〉一般社団法人 日本補償コンサルタント協会 関東支部 研修委員会
【建物】

中田 雅章 氏 (東洋測量設計株式会社 : 山梨県)

【工作物・立木・その他通損】

鮎ヶ瀬 真一 氏 (株式会社篠原設計 : 栃木県)

〔事務局長 (用地部長) の挨拶〕



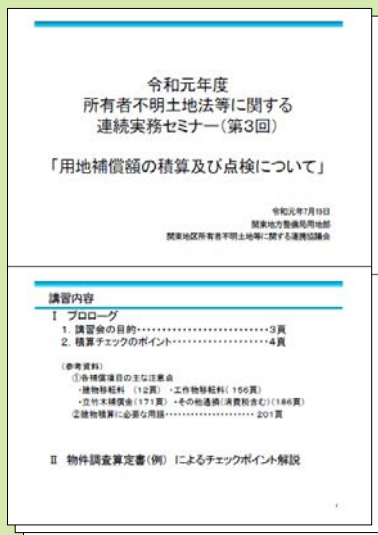
〔セミナーの様子〕



第3回セミナー会場風景
(参加者272名)

さいたま新都心
合同庁舎1号館2階 講堂

(セミナー資料)



(参考資料)

